

報道機関各位

令和8年1月6日

「ふつうの日になったのか 原爆の日」展

市は、毎年、戦争の惨禍を忘れず平和を紡ぐ想いを共有することを目的として「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」を募集し、選出された作品を「ふつうの日になったのか 原爆の日」展として展示しています。

今年度は、1,081 作品の応募があり、その中から選出された 46 作品を展示します。あわせて、戦争体験のない現代の高校生(広島市立基町高等学校)が、被爆者から詳細に被爆体験を聴き、約1年かけて仕上げた「原爆の絵」(複製)を展示します。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

概要

■日時 令和8年1月13日(火)正午～18日(日)
※開催時間は、施設の開館時間です。

■場所 国立市公民館(国立市中1-15-1) ロビー



▲「憎き米軍の恨みからトラックに投石し、米軍に発砲され、泣きながら逃げる」

作/福政 勇樹 所蔵/広島平和記念資料館。

問い合わせ

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係
TEL042-576-2111 内線(219)